

**桐生市立小中学校適正規模・適正配置基本方針に関する地域住民説明会
(梅田中学校区) の概要について**

○日 時 令和5年8月25日(金) 午後3時～午後4時2分

○場 所 梅田公民館 1号室

○参加者 【地域住民】 9名 【報道機関】 なし

○質疑応答

・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
地域住民	<p>梅田町2丁目の町会長です。基本的なことでお聞きしたいのですが、桐生市の教育委員会としての説明だったわけですが、桐生市と教育委員会の関わりというのは、どのようになっていくのでしょうか。教育委員会が決めたことイコール桐生市の考えということによろしいわけですか。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>制度上、学校の設置につきましては、学校教育法の中で、地方公共団体、つまり桐生市が行うこととされています。一方で、学校の管理運営につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の中で、教育委員会が行うこととされています。</p> <p>ですから、教育委員会で、これからの学校適正配置の方向性の在り方を決めさせていただき、学校の設置や整備等につきましては、市長部局とも協議の上、進めさせていただきたいと考えておりますので、そういった両方の整合性を取る必要があるものと考えております。</p>
地域住民	<p>今、なぜこのようなことを聞いたかと言いますと、資料2の説明でも明らかですが、10年後には、また新たな検討が必要になるという状況ですので、各地区に委ねて検討委員会を設置するのも良いですけども、根本的に桐生市として義務教育をどのようにしていくかという観点で、市内の小中学校をいくつにするというような大きなビジョンがあってもいいのではないかと思います。</p> <p>側聞するところによると、規模や詳細は分かりませんが、県外ですが町内の5つの小学校を1つに統合したとか、県内でも3つの小学校を1つに統合したところもありますよね。もう、そのくらいの統合をやっていかないと、また20年後には単学級が発生することになるわけですよ。恐るべき時代になってしまって、去年の出生者も300人台で、その子供たちが15年くらい経てば中学3年生になるわけで、同じ出生数であれば、単純に3学年で1,200人になるわけですが、今回の資料にも今後の児童生徒数の見込みがありまして、全くもってそのとおりだなと思うわけですが、もっと減る可能性もあると思います。</p> <p>私やここにいる皆さんも20年後のことは分からないかと思いますが、このような状況からすると、もっとその辺も見込んで検討していただいた方が、現実的なのではないかと思えます。10年後と言っても、実際、検討組織を設置して、実際に統合になるまでに、5年くらいはかかりますよね、早くて3年くらいですか、その辺はどうなのでしょう。</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (教育未来室長)</p>	<p>おっしゃるとおり、市内全域で少子化が加速しています。それに伴い、市内全域で学校規模が小規模化しており、こういったことから基本方針を策定いたしました。15年くらい前に、桐生市においても学校の適正配置がありました。過去の色々な経緯等も踏まえ、地域コミュニティの役割も担う学校について、その規模の適正化の決定は、行政が一方的に決定するのではなく、保護者、地域住民等の関係者の皆様と十分協議を重ねる必要があると考えております。</p> <p>まずは、各中学校区において学校適正配置の在り方について、協議していただき、その決定を受け、教育委員会が、最終的に責任を持って結論を出してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただければと思います。</p> <p>いずれにいたしましても、数字をご覧いただきましたとおり、今後の見込みはこのような状況でございます。教育委員会では、こういった現状を踏まえ、市内全体を見ながら、学校適正配置の在り方について、最終的な結論は出していかなくてはならないと考えております。</p> <p>また、学校が統合となる場合における開校までの期間的な見込みにつきましては、前回の適正配置では、検討委員会を設置してから新しい学校が開校されるまで、概ね3年から6年くらいの期間を要しています。</p> <p>今回、検討組織において、一定の方向性の結論が出るまでは、1年から2年くらいは要するのではないかと考えております。その結論を受けまして、仮に、統合するということになれば、学校施設の整備や児童生徒の通学環境の安全確保、通学手段についても十分検討しなければならないと思います。</p> <p>先ほど町会長さんが言われたように、検討組織が設置されてから5年くらいかかるのかというお話がありましたが、開校に至るまでの期間としましては、そのくらいの期間は要するのではないかと考えております。</p> <p>色々ご提案いただき、ありがとうございます。</p>
<p>地域住民</p>	<p>先日、公民館の運営委員会に出席した際に、教育長さんが挨拶で、「今、全ての挨拶する場では出生数の話をしているんです」ということで、その時に旧市内の人数と新里・黒保根地区の人数を分けてご説明されていたんですけども、もし、今資料でお分かりになるようであれば、令和元年、2年、3年、4年までは確実に出生数の速報値として出ているかと思うんですけども、その全体の出生数を旧市内と新里、黒保根を分けた人数というのはお分かりになりますか。</p>
<p>事務局 (教育未来係長)</p>	<p>本日、その資料が手元にありませんので、お答えできません。申し訳ありません。</p>
<p>地域住民</p>	<p>桐生市のホームページ上で掲載している出生数は、4月から3月までの人数なのか、その年の1月から12月までの人数なんですか。そこは分かりますか。発表している人数って。</p>
<p>事務局 (教育未来室長)</p>	<p>その資料の表記は「年度」ではなく「年」ですので、1月から12月までの間の出生数です。</p>

発言者	発言内容
地域住民	<p>学年とは、実際多少ずれるということですね。私が見ている資料ですと、令和元年は467人で、令和2年が449人、令和3年が421人、令和4年が361人というのが、桐生市のホームページ上で私が見てきた人数ですが、教育長さんがおっしゃっていたのは、361人の年度のことだったのか、その人数のうちの新里地区が80人くらいで、残りが旧桐生地域だということだったんですね。それを聞いた時に、旧市内の出生数がかなり少なくなった。先ほど町会長さんがおっしゃっていたように、桐生市全体で、本当に学校をどうしていくのかということを、前の保護者説明会の時でも話しましたが、その10年、15年前に考えていた時も同じように、適正化によってするんだって言いながら、10年、15年経って、じゃあそれがそうなった時に変わりましたかって言った時に、どれだけ変わったんですかというのが目に見えてなかなかないわけですよ。そうすると、また、10年経った時に、また同じことをやってるんですか、また、人数がないからまた集めましょうということが、子どもたちにとって魅力ある学校になるのかっていうのを考えていってほしいですね。</p> <p>そうすると、資料の22ページの下の方に書いてある魅力ある学校づくりについて、私は審議会の会議の中で話したわけですけど、統合等による学校規模の適正化の検討を契機として桐生の子供たちが夢を持って学び、健やかに成長できる教育環境の更なる充実を図ると、最後のまとめみたいにあるわけですけど、実際そうじゃなくて、桐生の子供たちが夢を持って学び、健やかに成長できる教育環境のさらなる充実を図る、それがどういう形でできるから、学校を統合して、子どもたちの数を多くして、やるようにしましょうっていうのがやっぱりないと、この先のことも、何も魅力ある学校にはならないと思うんで。今、協議に1、2年かかり、それから3年から5年かかるってことは、魅力ある学校づくりはここに書いてある1枚の紙じゃなく、もっと同時進行して、やっていかないと、子供を安心して学校に通わせる、桐生に住んで、子供を産んで、学校っていうふうにならないと思うんですけど。</p> <p>そのように、私はもう1回ここで発言させていただきました。</p>
事務局 (教育未来係長)	ご意見ということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。
地域住民	<p>統合、統合というのが説明でよく分かったんですが、桐生市では義務教育学校の黒保根学園がごございますね。東町の方にもあるようですが、単に小学校だけを統合とかじゃなくて、是非、義務教育学校の利点という意見も検討委員会を出してくれればなと思います。検討委員会の委員は誰が出るのかと資料32ページで見ると、地元の区長さんやらPTAの方やら、こういう人たちが集まりますということで、いわゆる一般の方はまず入っていないということですね。特に梅田については、30分以内とか安全とかそういう意味で、単に隣接だの何だのがくっつくんじゃないで、小中一貫校でも大変良い成果も上げられるというあたりもあるかと思っておりますので、地</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>域によっては考えていただければなあ。なかなかそういう発言する機会がないので、よろしく願いいたします。</p>
<p>事務局 (教育未来室長)</p>	<p>黒保根学園は、義務教育学校であるわけですが、黒保根地域で小中一貫教育が導入されたのは、地理・地形面や通学距離を考慮すると適正配置が困難であるとしている経緯を踏まえたものと考えております。現在、黒保根学園は設置したばかりですので、その成果については、検証を進めていく必要もあります。</p> <p>各検討委員会の中で、検討していただきますので、当然、義務教育学校というご意見があった場合に検討していただけるものと考えております。</p> <p>同時に、学校規模の適正化を目指すという観点におきまして、ただ単に小中一貫校にしても、各学年の学級数が増えるという状況でもありませんので、このようなことも踏まえて、検討していただき、一定の学校規模を確保した上で、小中一貫教育を導入するという考え方もあるかと思えます。そういった面では色々な協議をしていただき、最終的な決定をしていただく形にはなるかなと思えます。ご意見として承りまして、今後、協議の参考とさせていただきますと思います。</p>
<p>地域住民</p>	<p>人数が多いから質が高くなるとは私は思っていないですね。人数が少なくても学力を伸ばしているという学校もあります。文科省もきめ細かな指導と言っていますが、多くなった場合にその辺どうなのかな、置いてけぼりになっている子はいないかなとか。そういう意味で、適正な人数というのは分かるし、12学級以上というのも分かるんですけども、単純に、やれ11学級だからもう危機だということじゃなくて、小中一貫で教員同士が工夫するとか、人間関係とかそういうのをもう少しできるんじゃないかなと。今、いかにも自分が義務教育学校を目指してくれみたいな意見になっちゃうんですが、他の地域でもそれは考えられるんじゃないかなと、多様化の時代ですから、個を伸ばすと。子どもたちの未来をどう生きるかというあたりで、単に数字だけで切っていくのではなくて、その辺の意見というのでしょうか、バックにあるんだということ、是非、教育委員会の方々も数字のみではないということをお願いしたいと思えます。</p> <p>実際の学力テストをやってみて、人数の少ない学校は本当に低いのか、学力が低く出ちゃったのかと、じゃあ、人数の多い学校が学力テストでうんというのかと、その辺だつて分かると思うんですよね。だからそういう意味で、本当に小学校、中学校これからの学校教育で生きるためにどんな力をつけるのかというあたりで、是非数字でなくてお願いしたいと思えます。</p> <p>特に梅田地域は地図を見て分かるとおり、相当縦に長い地域ですから、五丁目の方もあんまりお子さんはいないということを知っていますが、四丁目だつていますし、その子供たちがこの梅田の中からもなく遠くまで毎日毎日通って、そういうバスの中で眠っちゃったとか、学童があるからって言うても親御さんはそこまで迎えに行くとか、そういった意味</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>では、私はやっぱり地元で教育ができればいいなということを、老婆心ながら考えております。</p>
<p>事務局 (教育未来室長)</p>	<p>学校規模につきまして、小規模校にも、良さと課題がありますし、それは大規模校でも同じかと思えます。また、教育委員会は、単純に大規模校を作りたいということではありません。</p> <p>現在、各学校では、小規模化が進行している現状でも、校長を中心に非常に熱心に教育活動を展開していただいで、課題となる面をできるだけ抑え、良いところを出していただいているのだと教育委員会は考えております。しかしながら、著しく小規模化が進行してしまったら、課題を解決することすら難しくなり、教育活動、教育条件の維持改善、そして学校運営にも支障が出て、それが改善できないということが現実としてどんどん出てきてしまいます。そういった面で、一定の学校規模は必要であると教育委員会では考えています。</p> <p>その点につきましては、これからの検討組織の協議の中でも、私どもも十分に説明をしなくてはならないと考えております。教育委員会としての考え方をご理解いただくとともに、ご意見も伺いながら、検討を進めてまいりたいと思えます。</p>